

すこやか

できた！につながる挑戦の積み重ね
～あきらめない心を育む～

☆「できないからもうやめる！」
子どもたちの会話の中でこのような言葉を耳にすることがあります。しかし、その一方で何度も挑戦を重ねた結果、「できた！」と目を輝かせて喜びを味わう姿も見られます。そこで、今回はあきらめない心を育む大切さについてお話していきます。

・あきらめない心を育むとは？

子どもたちは、これからの社会を生きていく中で、さまざまな困難や課題に出合うことがあるでし



中村保育所 園児

よう。そのような場面で大切になるのが「あきらめない心」です。ただ我慢をしたり無理をしたりすることではありません。「あきらめない心」は、自分なりに考え、工夫しながら挑戦を続けることで身に付くものであり、日々の生活や遊びの中で少しずつ育まれていくものです。それでは、年齢ごとの発達について説明します。

・乳児期（0歳児）

安心できる大人との関わりの中で「やってみたい」という意欲が育ちます。子どもの気持ちに寄り添いながら「できたね」「がんばったね」と認めてもらう経験が自信の土台になっていきます。

・1・2歳児

自分でやりたい気持ちが強くなる時期です。時間がかかってもあたたかく見守り、自分の力でできた喜びを味わうことが大切です。この時期に十分な達成感を得ることと「もういっかいやってみよう」という意欲が育まれます。

・3歳児

自分の思い通りにならない経験も増えてきます。失敗したときにすぐ大人が答えを教えるのではなく、「どうしたらできるかな？」と一緒に考えることで試行錯誤する力が育っていきます。

・4歳児

友達との関わりが深まり、協力したり競争したりする中で、粘り強さが育っていきます。また、友達の頑張る姿に刺激を受け、「自分でもやってみよう」と挑戦する気持ちが芽生えてきます。



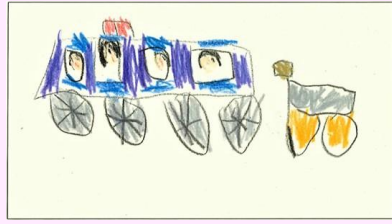
中村保育所 園児

・5歳児

自分で目標を持ち、その達成に向けて努力する姿が見られるようになります。運動遊びや集団活動の中では、できない悔しさを経験しながらも、友達や保育者の支えを受けながら、挑戦を続ける姿が多く見られます。

例をあげると、年長組で取り組

んだ跳び箱の練習では、最初は恐怖心から踏み切ることができず、跳び箱の前で立ち止まってしまいう子がいました。しかし、繰り返し練習を重ね、友達に励まされながら挑戦し続けたことで、跳び箱5段が跳べるようになりました。できた瞬間の笑顔がとても輝いており、自信に満ちた表情が印象的でした。



中村保育所 園児

幼児期に育まれた「あきらめない心」は、小学校以降につながる力にもなります。

勉強やスポーツ、人間関係などさまざまな面で支えになります。このような経験を通して感じるのは、子どもたちは結果だけでなく、

く、努力する過程の中で大きく成長するということです。できなかったことが、できるようになるまでには多くの失敗や葛藤があります。しかし、その一つ一つを乗り越える経験があきらめない心を育てています。

☆最後に

ご家庭でもお子さんの「できた」という結果だけでなく、「頑張った」を頑張ったね」など、頑張った過程に目を向けて接して欲しいと思います。また、失敗した時にはすぐに答えを与えるのではなく、「どうしたらできるかな?」「次はどんな方法でやってみようか」など、一緒に考える時間を持つことも大切です。私たち大人が見守り、信じることで、子どもは安心して挑戦することができ、園と家庭が共に子どもたちの小さな成長を認め合いながら一人一人の「やってみよう」という気持ちを大切に育てていきましょう。実は、子どもは思っている以上に大人

人をよく見ています。まずは大人が挑戦する気持ちを忘れず、子育てを楽しんでいきましょう。

☆子どものつぶやき

砂場でスコップを持ち、大きな穴を掘っていたA君。

「あー。せんせい。ティラノサウルスのたまご見つけたよ!」

「やったー!」

丸い形をした大きな石でしたが、恐竜のたまごだと信じているA君の純粋さにほっこりしました。

☆ 編集委員 所属一覧 ☆

- ・元大内中央小学校校長
- ・認定こども園真岡ひかり幼稚園
- ・真岡あおぞら保育園
- ・中村保育所



こちらの家庭教育通信をお読みいただいた感想をお聞かせください!



真岡市では家庭教育について情報を発信しています! ご覧いただき、ぜひご活用ください。



オピニオンリーダー会、コアラちゃんクラブなどの様子が見られるよ!

ホームページにあそびにきてびょん♪

